

# きよらパトロール隊

市町村名 阿蘇市南小国町  
活動開始 平成 16 年 4 月 1 日～  
参加人数 42 名 (平成 25 年 2 月現在)



## 活動を始めた きっかけ

小国警察署赤馬場駐在所管内は広域であったことから、地域住民から「駐在員の方だけでは大変だから協力しよう」という声上がり、平成 6 年に駐在所連絡協議会が発足しました。平成 16 年には「自分たちも、地域の安全・子どもたちの安全のために汗を流そう」と防犯に対する気運がさらに高まり、本隊を結成することとなりました。

## 主な 活動内容

### きよらパトロール隊総会の開催



定期的に隊員が集まり、活動状況及び今後の活動等について協議し、情報交換・共有しています。

### 有事の際には、緊急で警戒パトロール

小国警察署とネットワークを構築しており、近隣で不審者による事案が発生した場合には、FAX 等で知らせ、パトロールを強化しています。このパトロールは、20 キロにも及びます。



### 地域イベントでの防犯活動

ふるさと夏祭りの周辺パトロールや、秋祭り等に、小国署と防犯の広報活動を実施しています。

## 巡回パトロールの実施



隊を7班編成とし、一つの班が1週間を担当。各当番班の班長が主体となり、週2回(18:00～19:00)、青色回転灯車を使用して地域のパトロールを実施。中原・赤馬場地域はおよそ1000世帯ほどあり、1回の走行距離は15～20キロにも及びます。

12月には年末特別警戒として  
隊員総出で小国署と合同パトロール



## 進めるポイント

隊の方針は「できる範囲で、決して無理をしない事。」であり、「私たちにできること」「自分たちの町は自分たちで守る」をキーワードに、50代くらいの比較的若い世代が中心となって活動しています。

パトロール後は必ず活動結果を日誌に記録し、当番班長から次の当番班長へ、バトンリレーのように手渡すことで、確実につなげています。この日誌は、結成当初から10年続いており、班が違っていても隊員同士の絆が深まり、信頼関係が築けていると感じています。



## 広げるポイント

地域内の小学校長先生を筆頭に、保護者や先生方も活動に意欲的に参加して下さるので、学校側の視点も踏まえてパトロールでき、学校側との連携もうまく取れ、情報や意見の交換を交えながら円滑に活動できています。

また、警察署の方などを交え定期的に情報交換していくことで、活動内容の充実を図ることができています。

## 活動の ポイント



## 続けるポイント

隊員の職種も、自営業から公務員まで幅広い方が参加しています。少数精鋭を心掛けており、隊長自ら信頼できる人に声をかけ、活動に参加してもらっています。

私たちの活動している姿を、子どもから高齢の方まで住民の皆さんに直接見てもらうことによって、地域全体で防犯の意識を高め、犯罪のない明るいまちづくりを目指しています。活動を続けていくうちに、若い世代の方たちの意識も、徐々に変わってきているように感じます。



## 今後の 課題や抱負

今後の課題は、地域外のエリアの防犯についての取組みです。南小国町には、防犯組織の無い地域もあります。他地区、他団体との連携を今後より一層深めていく事が鍵となってくると思います。

また、隊員の自家用車を用いてパトロールを行っていますが、その際のガソリン代は、隊員自ら出費しております。年間で通算すると結構な走行距離なのですが、10年もの間、みなさん文句一つ無く進んで活動してくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

隊の結成自体はスムーズにできましたが、当初は助成金などもなく、資金面での問題もありました。制服や車に貼るステッカーなどもなく、防犯ボランティアであることを明示できない状態での活動には、住民から怪しまれるといった苦勞もありました。しかし、活動を続けていくうちにそういった問題も次第に解決していき、地域に根付いた活動が出来ていると感じます。

今後の活動としては、この現状がベターだと思うので、今後も、無理に人を増やさず、少数精鋭制にこだわり、現状維持の中で内容の充実を図っていきたいと思っています。



取材対応者 隊長 松本さん